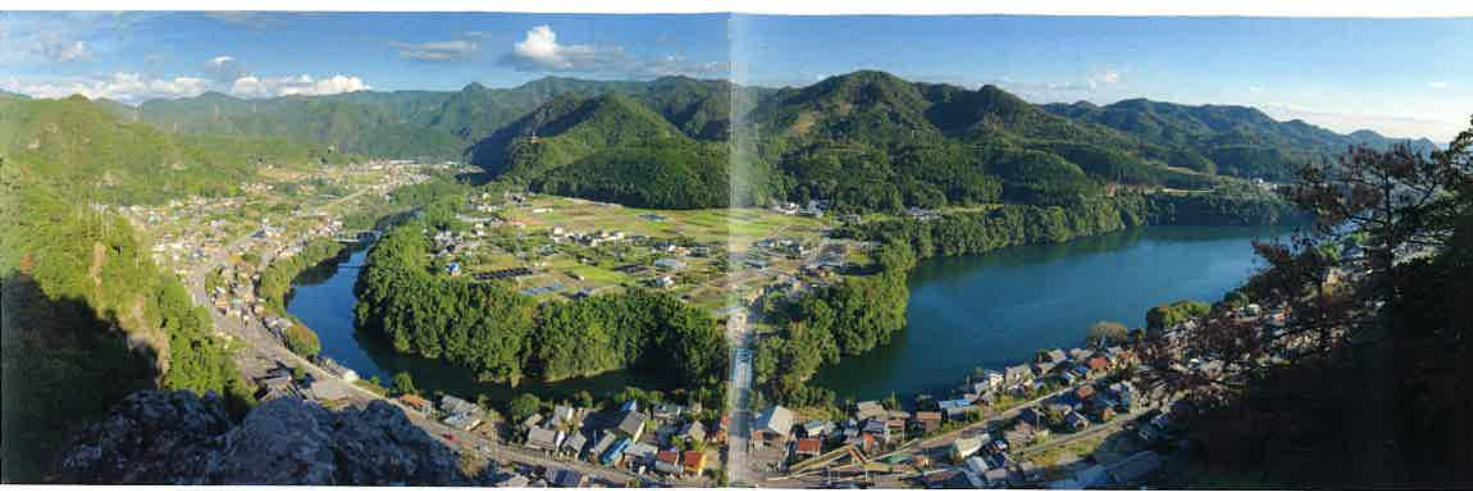


歴史と自然が共存する町  
川辺町 上川辺地区／下麻生地区

# 散策マップ



## 遠見山と下麻生城



遠見山山頂には、飛騨川を一望できる断崖の上に山城があったと言われており、遠望は白川・八百津・兼山方面に及び、飛騨街道の要衝を占めていた。別名「遠見山」と呼ばれていたこの城は三つの山からなり、本丸・二の丸・旗振場などが構築されていたと推定される。城主は稲葉一族の彦六（良通一鉄）とも言われ、戦国時代に築城してこの地方を支配していた。しかし金山城主森長可によって攻められ落城した。その後井戸七郎兵衛が城を守って白川方面の中継地としていたが、再び戦乱が起こり城主は落ち延びて廃城となった。井戸七郎兵衛は稲葉氏の家臣とも言われ、撤退の際に森長可によって船中で謀殺されたとの伝承もある。標高は272m。山頂には「火」の神様である秋葉神社が祀ってある。

## 下麻生綱場



飛騨川流材の始まりは、享禄元年(1528)という記録が最も古い。飛騨山中で伐採された木材は、谷川から大川へと1本1本下麻生綱場まで流送されてきた。この綱場は川幅も広く平流であったことから、流材を止めるのに最適の場所であった。木材は綱場で筏に組まれ白鳥湊(名古屋市)まで川を下った。その数量は年間25万本にもなったという。ただ稼働時期としては、川の増水時を避けた毎年9月から翌年3月までであった。この綱場は明治以降、道路の改修や運送業の発達により次第に衰え、昭和になってJR高山線の開通、発電所ダムの建設により姿を消していった。





# 上川辺地区／下麻生地区 散策マップ

●●● 飲食店



**1 川湊の里** 0574-53-2281 営業 9:00~14:30 休(木)  
川辺町の朝どれ野菜や特産品などを販売する直売所。景色の良いイートインスペースと観光案内もあり、様々な情報を発信しています。



**3 そろばん博物館**  
古いそろばん、外国のそろばん、そろばん玉細工など、そろばんに関する様々な物が展示されています。



**5 遠見山** とおみやま  
かつて下麻生城があったとされる遠見山。飛騨川と町が一望できます。北部公民館から30分ほどで山頂まで登ることができ、気軽に登山を楽しめます。また遠見山から南天滝までの登山道が繋がったので、周遊することが出来ます。



南天滝



見晴らし岩



秋葉神社



**5 遠見山** ▲272m  
至遠見山



**6 県神社** あがたじんじゃ  
県大明神を祀る神社で、山岳信仰の名残をとどめ、古い伝承に由来する「桶がわ祭」が行われます。

至美濃加茂・岐阜



**2 阿夫志奈神社**  
あぶしなじんじゃ  
弘仁2年(811)疫病平癒の為に建設されたと言われています。蛭追男(い)が登場する春の神事が有名です。



**4 下麻生綱場跡**  
陸運が未発達だった頃、飛騨地域から流れてくる木材を束ねて在種ごとに筏にして下流に流していました。(詳しくは裏面に記載)



**8 権現山** ごんげんやま  
香々背男命(かがせのおみこと)を祀る星神社が麓にあり、丸い川石の階段が続きます。山頂までは50分ほどで登ることができ、山々と町の景色を堪能する事ができます。



至下品・高山